

推進体制についてのチェックシート

領域	項目	A (4ポイント)	B (3ポイント)	C (2ポイント)	D (1ポイント)	評価
1 組織	(1) 全体会 代表者会	学校全体(管理職等を含む)と各学年の代表者等からなる推進組織があり、定期的に話し合いがなされ、全校体制で取り組んでいる。	学校全体と各学年の代表者等からなる推進組織はあるが、情報交換程度で、学年単位で取り組んでいる。	学校全体と各学年の代表者等からなる推進組織の両方がある。	学校全体若しくは各学年の代表者等からなる推進組織のどちらかがある。	
	(2) 担当(主任・コーディネーター等)の役割	担当(主任・コーディネーター等)が校内外の調整を図り、推進体制の核となっている。	担当(主任・コーディネーター等)が校内全体の調整を図り、推進体制の核となっている。	担当(主任・コーディネーター等)が校内全体の調整を図っている。	担当(主任・コーディネーター等)は設置されている。	
2 評価	推進体制に関する評価	推進体制について年間を通して計画的に評価を行い、随時軌道修正をし、次の教育活動や次年度に生かしている。	推進体制について年間を通して計画的に評価を行い、年度末に軌道修正をし、次年度に生かしている。	推進体制について年度末だけでなく、年度途中にも評価している。	推進体制について年度末に評価している。	
3 研修	教職員の資質向上	学校として、次の項目についてすべてを実施している。 研究授業(公開授業を含む) 総合的な学習の時間に関する学習会 校外での研修会への参加と報告会	Aに示した項目のうち学校として2つ実施している。	Aに示した項目のうち学校として1つ実施している。	総合的な学習の時間に関する研修は個人に任されている。	
4 連携	(1) 地域との連携	地域との受信発信体制があり、取組の地域への発信や「活用リスト」(人材・施設等)を使って、地域の人材や施設等を活用している。	「活用リスト」(人材・施設等)があり、地域の人材や施設等を活用している。	学校として地域の人材や施設等を活用する体制づくりがなされている。	地域の人材や施設等の活用が学年に任されている。	
	(2) 異校種との連携	地区内の異校種を含む他校との情報交換の場があり、総合的な学習の時間について情報交換をし、児童生徒の学習活動に反映されている。	地区内の異校種を含む他校との情報交換の場があり、総合的な学習の時間について情報交換をしている。	総合的な学習の時間について地区内の他校との情報交換の場がある。	児童生徒の様子について地区内の他校との情報交換の場がある。	

カリキュラム開発についてのチェックシート

領域	項目	A (4ポイント)	B (3ポイント)	C (2ポイント)	D (1ポイント)	評価
1	付けたい力 付けたい力の設定	総合的な学習の時間のねらいを踏まえるとともに、学校教育目標、児童生徒や地域の実態に応じて、付けたい力を設定している。	総合的な学習の時間のねらいを踏まえるとともに、学校教育目標と関連付けて、付けたい力を設定している。	総合的な学習の時間のねらいを踏まえて、付けたい力を設定している。	付けたい力を設定している。	
2	全体構想 全体計画の作成	次の項目についてまとめた全体計画を作成している。 学校教育目標との関連 児童生徒や地域の実態 各教科、道徳、特別活動との関連 目標や内容 付けたい力 学習活動 指導方法や指導体制 評価の計画	Aに示した項目のうち、6つ以上についてまとめた全体計画を作成している。	Aに示した項目のうち、4つ以上についてまとめた全体計画を作成している。	Aに示した項目のうち、2つ以上についてまとめた全体計画を作成している。	
3	指導計画 年間指導計画の作成	各教科、道徳、特別活動との関連を図り、学年の系統性を踏まえて、学習活動と実施時期を示した年間指導計画を作成している。	学年の系統性を踏まえて、学習活動と実施時期を示した年間指導計画を作成している。	学習活動と実施時期を示した年間指導計画を作成している。	単元と実施時期を大まかに示した年間指導計画を作成している。	
4	(1) 体験的な学習や問題解決的な学習	付けたい力の育成につながる体験的な学習や問題解決的な学習を積極的、計画的に取り入れている。	付けたい力の育成につながる体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れている。	体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れている。	体験的な活動を取り入れている。	
	(2) 意欲・動機付け	次の項目について工夫し、意欲・動機付けをしている。 学習概要の説明(ガイダンスの実施) 児童生徒一人一人への学習支援 外部人材、施設、NPO等の活用 学習成果発表の場の設定	Aに示した項目のうち、3つについて工夫し、意欲・動機付けをしている。	Aに示した項目のうち、2つについて工夫し、意欲・動機付けをしている。	Aに示した項目のうち、1つについて工夫し、意欲・動機付けをしている。	

評価についてのチェックシート

領域	項目	A (4ポイント)	B (3ポイント)	C (2ポイント)	D (1ポイント)	評価
1 評価の計画	(1) 観点・規準	付けたい力に基づき観点が定められ、単元ごとに観点別の評価規準が設定されている。	付けたい力に基づき観点が定められ、単元ごとに評価規準が設定されている。	評価の観点が定められ、単元ごとに評価規準が設定されている。	評価の観点が定められている。	
	(2) 位置付け	多様な学習に応じられる過程と結果の評価、総合的な評価を計画に位置付けている。	多様な学習に応じられる過程と結果の評価を、計画に位置付けている。	学習の過程と結果の評価を計画に位置付けている。	学習の結果の評価を計画に位置付けている。	
2 評価の方法	多様な評価	教師による多様な評価に加え、自己評価や相互評価を含む様々な評価の方法が用いられている。	教師による多様な評価に加え、自己評価、あるいは相互評価が用いられている。	教師による多様な評価の方法が設定されている。	教師による評価の方法が設定されている。	
3 評価の活用	(1) 指導と評価の一体化	付けたい力に基づき、児童生徒の学習の過程を把握し、個に応じた評価を生かし指導内容や指導方法を見直している。	付けたい力に基づき、児童生徒の学習の過程を把握し、個に応じた評価を伝えている。	付けたい力に基づき、各評価場面において、各評価場面において、個に応じた評価を伝えている。	各評価場面において、個に応じた評価を伝えている。	
	(2) 外部への発信	保護者に学習内容や学習の評価を知らせている。また、地域や外部協力者に学習の様子や成果を伝え、保護者や地域、外部協力者から意見や評価を得ている。	保護者に学習内容や学習の評価を知らせている。また、地域や外部協力者に学習の様子や成果を伝えている。	保護者に学習内容や学習の評価を知らせている。	保護者に学習内容を知らせている。	
4 評価観	(1) 評価の改善	教師個々だけでなく組織でも、評価の計画と評価の方法を改善している。	教師個々だけでなく組織でも、評価の計画あるいは評価の方法を改善している。	教師個々が評価の方法を改善している。	教師個々が評価をしている。	
	(2) 評価の姿勢	現在の学習活動の改善や児童生徒理解に生かすとともに、児童生徒が自己の生き方を考えられるようにするために評価をしている。	現在の学習活動の改善や児童生徒理解に生かすために評価をしている。	現在の学習活動の改善に生かすために評価をしている。	知らせたり記載したりするために評価をしている。	

チェックシートの使い方

シートの各項目について、自校の状況からそれぞれ4段階のどこに該当するのかを判断し、Aを4ポイント～Dを1ポイントとカウントしポイント数を算出します。

小項目がある場合は平均値をポイントとします。

3つのチェックシートすべてのポイントが算出できたら、レーダーチャートに書き入れてみましょう。

チェックシート	領域	ポイント
推進体制	組織	
	評価	
	研修	
	連携	
カリキュラム開発	付けたい力	
	全体構想	
	指導計画	
	学習方法等	
評価	評価の計画	
	評価の方法	
	評価の活用	
	評価観	

